

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度		根拠法令・例規等	火薬類取締法、計量法、採石法
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち
	小項目 施策	27	商工業、海運業の振興
事務事業名	07	工業振興事業	
		問 担当課(室)	産業振興課
		先 職・氏名	商工振興係長 隅谷淳就
		電 話	0869-64-2228
このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	対象事業者
目的(何のために)	許認可事務を行い、企業活動の振興を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	審査の上、許可できるよう適切な申請を指導する。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
計量器検査事務	計量法に基づく特定計量器定期検査(2年に1回)にかかる事務	◎	
火薬類取扱い事務	火薬類取締法に基づく火薬類消費許可申請にかかる証明書発行事務	○	
地下資源関係事務	県事業の採石法関係事務の補助	▲	
目的を達成するため実施した事業			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	0	0	0
	必要人員費	人件費	0.02人	159	196
	事業費計		159	196	237
	国県支出金				
	受益者負担				
財源	繰入金	千円			
	市債				
	その他()				
	一般財源		159	196	237
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
			許可率	100.0%	100.0%
対前年比	対前年比	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	159,000	196,000	237,000
	単位当たりコスト	円	159,000	196,000	237,000

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果 (平成25年度事業)						
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
許可率	目標値(A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
	実績値(B)	100.00%	100.00%	100.00%	到達目標値	
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
許可件数/申請件数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >			Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低 高 低 C		
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げ余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げ余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低 高 低 C		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低 高 低 C		
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C		

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	継続して実施している。						

総合評価		
今後も、適正な許認可事務を行う。		総合評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低 高 低 C

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	許認可にかかる審査の迅速性、適正化の推進。						

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら